

2024年度 個人研究実績・成果報告書

2025年 4月 27日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	合原理映
研究課題	違憲の法律の合憲性回復に向けた裁判所と立法者の協働に関する研究				
研究キーワード	違憲審査権、投票価値の平等、議員定数不均衡、	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	10.人や国の不平等をなくそう	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

本研究の目的は、法律が、時の経過や制定当初には想定されなかった事態が生じ違憲と判断されうるようになった場合に、裁判所が法律の合憲性を回復するためにどのように立法者に対して働きかけ、協働しうるのかということをも明らかにすることである。

本研究は議員定数不均衡訴訟を素材として研究を進めている。多くの判例を分析し、過去の判例への当てはめ、位置づけを試みている。本年度は論文としてまとめられなかったが、2025年には参議院選挙に関連した訴訟が提起される見込みであるため、それを踏まえた論文を完成することができる予定である。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

なし

【著書・論文 (査読なし)】

なし

【学会発表等】

なし

3. 主な経費

書籍等購入費

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

なし

(本文は2ページ以内にまとめること)